

# 学内報 知の柱 Pillar of Wisdom

第11号

太成学院大学 www.tgu.ac.jp

〒587-8555 大阪府南河内郡美原町平尾 電話 072-362-3731/FAX 072-362-0598 監修:学校法人 天満学園 企画室

第20回学術講演会・総会開催  
本学足立記念館

## 医学生物学的未来を探る

### 電子顕微鏡技術学会

会長 尾上孝利(太成学院大学教授)

医学生物学電子顕微鏡技術学会第20回学術講演会及び総会  
会は、平成16年4月23日(金)25日(日)に本学足立記念館を主会場として開催された。  
医学生物学電子顕微鏡技術学会は、昭和60年に医学・生物学電子顕微鏡技術研究会として発足以来20年の月日がたち、創立20周年の記念式典も4月23日(金)に挙行政された。

本大会の名誉会長である本学の足立孝利氏は、20周年記念式典で、「医学生物学電子顕微鏡技術学会の第20回学術講演会及び総会をこの太成学院大学を会場として3日間にわたって開催されますことは、本学にとりまして誠に意義深く光栄に存していることとさせていただきます。この3日間の学術講演会がご集まりの皆様一人ひとりの重要な学術研究の機会となりますと共に、その成果によってわが国の学術振興の一助として医学・生物学の益々の発展を遂げますことを祈念いたします」と挨拶した。  
第20回学術講演会は、「明日への挑戦」未来へつなげ電顕技術・情報」をテーマで開催された。生物学は分子遺伝子学の発展と共に



電顕技術学会であいさつするWH  
○西太平洋地域各大学事務局局長  
の韓相泰先生

### 中村智太郎選手(人間学部2年次生)

## パラリンピックアテネ大会出場決定!!



活躍が期待される中村智太郎選手

財団法人日本障害者スポーツ協会日本パラリンピック委員会は、去る4月15日、パラリンピックアテネ大会の出場選手選考委員会を開催し、翌16日、鮮やかな緑に囲まれたキャンパスに中村智太郎選手がパラリンピックアテネ大会出場決定のピンクニュースが流れ、大きな歓声に沸いた。人間学部2年次生の中村選手は水泳100m平泳ぎで出場が決定し、アテネへの切符を手にした。  
中村選手は、昨年12月に香港で開催されたフエスピックユニース大会(極東・南太平洋

## ミクロの体験で子どもに感動と夢を

承と共に新しい技術の開発、得られた情報の発信が求められる。世はナノテクノロジー時代、新しい技術を求めている。ここでも電子顕微鏡技術はこれらの発展に大きく寄与している。第20回学術講演会では、一般講演会・ワークショップ・シンポジウムを中心に構成され、演題数は実に80題になり、参加者の熱意がひしひしと伝わってきた。  
また、本学会と並行して、一般向け写真展「ミクロの不思議な世界」と公開講演「現代社会と電子顕微鏡」が開催された。写真展は3日間で立見立館1Fホールで昆虫の顕微鏡生物、植物等の拡大写真をパネルで展示。さらに走査電子顕微鏡を台設置し、参加者が持参した昆虫や花等を見ることが出来、さらに拡大写真をプリントしてもらい、持ち帰る



「わあ、すごい」ミクロの世界、を体験した子どもたち

ことが出来た。24日(土)25日(日)は親子連れで賑わい、持参した昆虫や花の拡大写真と、エコマネジメントコース」を新設する。「経営情報システムコース」は、企業経営に必要な意思決定の方法やプロセスを説明し、必要な情報が必要な人に適時提供するための経営情報システム構築方法を学び、新しい企業活動をリード出来る考え方や視点を身につける。コンピュータ活用コース」では、経営・情報・技術をバランスよく学び、コンピュータという技術を自在に活用できるIT時代のリーダーを育成する。エコマネジメントコース」では、環境マネジメントをはじめとする環境に配慮した経営と自然環境について学び、ITの活用も含めた環境管理の手法について学修する。

### こうなる来年度の学科・コース

- 経営情報システムコース」新設
- 人間文化「国際文化コース」に改編
- 人間文化「観光マネジメントコース」に改編
- 経営情報「コンピュータ活用コース」
- 経営情報「エコマネジメントコース」
- 経営情報「国際文化コース」
- 経営情報「観光マネジメントコース」

### 05年4月から2学部4学科12コースに(予定)

学部	学科	コース
人間学部	心理学科	・認定心理コース ・カウンセリングコース ・健康心理コース
	人間文化学科	・国際文化コース ・健康スポーツコース ・観光マネジメントコース
経営情報学部	経営情報学科	・経営情報システムコース ・コンピュータ活用コース ・エコマネジメントコース
	コミュニティビジネス学科	・生活支援ビジネスコース ・地域環境ビジネスコース ・ITビジネスコース

に歓声があがった。開会式で本学足立副学長に学会から感謝状が贈呈された。  
今回の医学生物学電子顕微鏡技術学会の第20回学術講演会及び総会は文部科学省、厚生労働省、大阪府教育委員会、堺市教育委員会、大阪狭山市教育委員会、羽曳野市教育委員会、富田林市教育委員会、美原町教育委員会、太成学院大学の後援のもとに開催され、地元の皆様多数の参加もあり成功裏に終了した。本学でこのような会を開催する事ができたことは、大きな喜びであると共に、本学の各在野に知らしめた効果は大きい。  
学会参加の先生方から本学事務局局長に立派な会場施設とすばらしい自然環境の中で学会が運営され満足している。接した学生達の礼儀正しい姿と職員への対応が非常に良かったとの評価をいただいた。

平成15年度卒業研究発表会は、2月6日(金)午前10時より学内7会場で分かれて開催された。この発表会は、学生の研究に対する学習意欲の向上、情報機器等を活用したプレゼンテーション能力の向上、レジュメの作成、将来、学会や企業内での報告会に対する研修等を狙って企画した。発表者全員のテーマは別掲の通りで、それぞれの発表に努力の跡が感じられ、胸にジーンとくる発表も多くあった。

### 卒業研究発表会テーマ一覧

Table with 4 columns: 発表者氏名, 所属研究室, テーマ, 発表者氏名. Lists research topics and authors across multiple sessions (1st to 3rd).

Table with 4 columns: 発表者氏名, 所属研究室, テーマ, 発表者氏名. Continuation of research topics and authors.

Table with 4 columns: 発表者氏名, 所属研究室, テーマ, 発表者氏名. Continuation of research topics and authors.

## 仲間と歩んだ道



大学  
学位記授与式

### 感激と共に旅立ちの時

平成16年3月15日(月)、太成学院大学の第3回学位記授与式が立派記念ホールで挙行了。学長より140名の卒業生一人ひとりに学位記が手渡され、大きな拍手が送られた。学長、来賓代表のお祝いの言葉に続き、各種表彰が行われた。在校生代表の送辞、卒業生代表の答辞があり、学位記を手にした卒業生全員が4年間のいろいろな思い出を胸に感激にひたっていた。

### 短大 第16回卒業式



### 新たな道へ就職内定率90.0%

平成16年3月17日(水)、第16回大阪短期大学の卒業式が挙行された。大阪短期大学は改組を経て、今年が最後の卒業式となった。学長を心あたためるお祝いの言葉や送辞・答辞で胸がいっぱいになる卒業生と関係者の姿が多く見られた。会場の足立記念ホール周辺に包まれていた、厳かな中にも華やかに、数多くの教員、卒業生と関係者の姿が、卒業生全員が新たな道へ就職内定率90.0%に達し、昨年の15%も上回った。今後進む道は異なるが、自分の夢を実現するために卒業生全員が時の流れも忘れて決意を新たにした。

## 就職ガイダンス 個別指導 実践的に

取得者に奨学金支給  
エクステンションセンター  
資格をとる  
資格をとりまく

各企業は、厳しい経済動向に対処するため、少数精鋭、厳選体制による戦力確保の方針が進められている。このような現況に対処するため、学生たちのニーズに合った対話型個別相談、一般企業人事担当者の講演会、所轄官庁による公務員受験講座など低年次生参加型の講演会の開催、並びに就職コンサルタントによる履歴書の書き方等、実践型テーマ別就職ガイダンスの実施等を予定している。

Table with 4 columns: 開催月, 項目, 内容, 出席対象. Details the career guidance sessions, including topics like self-analysis, resume writing, and job interviews.

Table with 4 columns: プログラム名, 開講日, 受講料, 奨学金. Lists various educational programs and their associated costs and scholarships.



# 希望満開 入学宣誓式

## 新入学生代表が力強く宣誓

4月3日(土)午前10時30分より第7回入学宣誓式が足立記念館3Fホールで荘厳に行われた。当日は好天にも恵まれ、キャンパスの桜も満開で新入学生たちを祝福していた。

まず足立学長が、新入学生に学問に対する基本姿勢と学修の心構え等につれ、活躍を期すことを誓いますと力強く宣誓した。

待する式辞を述べた。続いて、新たな希望と決意に満ちた新入学生を代表して人間学部長



満開の桜も新入学生を歓迎した

# 保護者ガイダンス開催

## 教育方針と現状を説明



平成16年度、保護者ガイダンスが、4月3日(土)、入学宣誓式終了後、本館3F多目的教室で約200名のご参加をいただき開催された。開催の趣旨は、本学の教育方針・現状を説明し、保護者の皆様に本学を十分に理解いただくため。

まず、足立学長が、改めて入学に対するお祝いの言葉と、ガイダンスの意義について挨拶(写真)。続いて太田人間学部長・坂元経営情報学部長が、本学の教育の特色と教育内容について、さらに、笠井教務部長が、履修および資格等について、山田学生部長が、学生生活全般について、説明した。また春田情報センター長は、ノートパソコンの希望購入について、八木エクステンションセンター長は、「資格の取得について」説明した。最後に太成学院大学教育後援会の小谷副会長より挨拶と教育後援会の活動についての説明があり閉会となった。

本年度のフレッシュマン・キャンパスは、人間学部が平成16年4月7日(日)8日(経営情報学部が4月8日(日)9日にそれぞれ1泊2日の日程で、滋賀県の大津プリンスホテルで終りに開催された。

参加者は本学で開講式の後、バスに分乗して会場のホテルに向かった。最初はやや緊張していた新入生たちも会場に近づくにつれ、和やかな雰囲気の中で会場に到着した。到着後、学生生活ガイダンスがあり、懇親会ではおいしい料理を食べながら歓談し楽し

# キャンパスライフの友だちづくりに

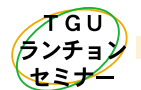
## 活気漲るフレッシュマン・キャンパス

しい時間を過ごした。夜はアドバイザーを囲み「クラスミーティング」を行い初日は終了。2日目は9時から「グループディスカッション」をして各グループからの発表があり、2日間のプログラムが終了した。

このフレッシュマン・キャンパスの狙いは新入生が4年間の学生生活を送っていくための目標の明確化と、自覚の形成を確立するための第一歩として行っている。1泊2日という短期間ではあるが、大学生活を通じて社会の構成員として必要な個人のあり方

聞文化学科の上原清華さんが、建学の精神である「教育は徳なり」の教えを守り、学業に励むことを誓いますと力強く宣誓した。

続いて来賓代表として美原町教育委員会の福永教育長より、勉学や研究を通して真理の探究に励み、希望と情熱に満ちた学生生活を送ってほしいとの祝福をいただいた。祝電披露に続いて、在学生を代表して、本年は経営情報学部経営情報学科の林裕輔君が「緑が溢れる素晴らしいキャンパスで勉学や研究に励み、充実した学生生活になるよう在学生全員が応援します」と温かい歓迎の言葉を述べ、新入生全員が感激を新たに厳粛ななかで式を終えた。



# 教職員、学生が気軽に

## 昼食とりながら知的交流

太成学院大学では、学問的・知的交流の場として「TGU ランチョンセミナー」をスタートさせた。これは昼の休憩時間に行われ、教員が持ち回りで自分の専門分野や研究内容を発表し、参加者は昼食を食べながら聞くというもの。毎月1回、所要時間40分、教職員はもちろん学生にも参加してもらい、気軽な雰囲気で行う。



大学における教育をより充実させるためには、その教育の基盤を形成する研究という要素を無視・軽視することは出来ない。それぞれの教員が学部を問わず、関心を持っている事や研究内容等を簡単な形で知れていることは、教員相互の知的・学問的な交流を促すと共に、本学における学問的な雰囲気を高めることにつながる。それは、本学で学ぶ学生に対しよい意味での学問的・知的影響を与え、教育上の利点となり、授業内外で、学生との対話に広

がりが出てくると思われる。その結果、様々な授業の有機的な関連性が生まれてくること確信する。

第1回は1月29日(木)に、講師は心理学の吉野教授で、テーマは「行動分析学への招待」であった。第2回は2月26日(木)に講師は歴史学の黒川講師で、テーマは「近世ヨーロッパの魔女とメランコリー」。第3回は3月24日(水)に、講師は心理学の小高助教授で、テーマは「親子関係の認知構造」について。第4回は4月28日(水)に、講師は、経営情報学の釣島教授で、テーマは「シリコンバレーのベンチャー企業」であった。各回ともに教職員をはじめ、学生たちも多数参加し、質問も多く毎回予定時間をオーバーする程であった。今後も参加者がさらに増え熱気が溢れるランチョンセミナーになり、各種授業の有機的な関連性が高まるものと思われる。

# 実務の第一人者招き 広い視野を

## 経営情報学入門

経営情報学部では、経営情報学入門の授業に外部より実務経験の第一人者を招き、15回の授業を秋元克幸氏、藤野寿氏、伊藤博氏、中田光一氏の外部講師4氏に担当して講演をしていただく。

受講学習の目的は、①情報化社会において相互情報伝達手段について原始的な方式の時



アドバイザーを囲んで相談でもりあがるミーティング

に集団宿泊活動を通じて集団のルールを守ることや、基本的な生活様式、自己の行為に対する責任ある態度、先生や友人との共感しあう人間関係の醸成、仲間との協働や役割分担、リーダーシップの取り方などを肌で感じて体動かし、体得させる事を重視している。

参加した新入生学生多くは、「参加するまで不安だったが、たくさん人と話が出来て有意義であった。参加して新しい友達がたくさん出来たし、2日間の研修で学生生活に自信が持った」と感想を述べていた。

限られた日程で新入生全員が参加し、学生生活に対して自信をつけた。新入生がこの「フレッシュマン・キャンパス」で学んだことを生かし、活気あるキャンパスになるよう見守っていききたい。

実施予定週	テーマ	授業の具体的な内容・進め方
1	ガイダンス	授業全体の概要について説明する。情報化社会への発展について。
2	企業の仕組みと仕事	企業の仕組み、役割について。これからの企業の運用に必要なもの。
3	企業の仕事と情報化の役割	企業におけるIT化の状況。社内、顧客、材料との関係について。
4	企業の仕事と情報化のおさらい	単元のおさらい。
5	最新の情報技術	実際に使用されている最新の情報技術について学ぶ。
6	暮らしと情報	情報技術と個人生活についての関連を学ぶ。
7	情報技術の未来	情報技術の未来の可能性について学ぶ。
8	デジタル化・ユビキタス社会の可能性について	単元のおさらい。
9	経営情報システムの発展の歴史	企業における情報化の歴史、経緯を学ぶ。
10	意思決定支援システムについて	経営戦略、経営意思決定に情報がどのように関連し、経営意思決定のスピード化について学ぶ。
11	経営戦略と情報	同上
12	意思決定と情報について	単元のおさらい。
13	ハイテク犯罪について	ハイテク犯罪の現状を学ぶ。
14	まとめ	レポート作成とアンケート。

人事

教員(平成16年4月1日付)

(1) 任命

経営情報学部

学部長 坂元 保秀(任期2年) 再任

教務部長 吉川 博史(任期2年)

学生部長(兼就職部長)

山田 晃(任期2年)

図書館長 室屋 洋一(任期2年) 再任

情報センター長

春田 利雄(任期2年) 再任

エクスナショナルセンター長

八木 一成(任期2年) 再任

(2) 採用

経営情報学部

教授 佐登 好英

情報処理概論

情報管理論

プログラム設計論

プログラム設計論演習

教授 関戸 恒昭

マクロ経済学

ミクロ経済学

現代企業論

貿易政策

国際経済学

地域産業論

地域経済学

人間学部

助教授 高井 範子

カウンセリング実務論Ⅰ

カウンセリング実務論Ⅱ

人格心理学

健康心理学

講師 田中 秀生

人間学入門

思想と文学

西洋史概論

講師 鈴木 公洋

認知心理学

心理心理学

ソフトウェアアプリケーション

(3) 退職(平成16年3月31日付)

助教授 安留 誠吾

助教授 優 克剛

兼任講師

採用平成16年4月1日・同17年3月31日

松本 明生

カウンセリング実務論Ⅰ

カウンセリング実務論Ⅱ

塩山 則之

日本考古学概論

高山 昌子

運動生理学

佐伯 洋子

栄養と健康

横山 誠

レクリエーション指導法

片倉 道夫

レクリエーション概論

森山 徳夫

オラルコミュニケーション

オラルコミュニケーション

英語学概論

木村久美子

介護概論

事務職員(平成16年4月1日付)

(1) 採用

a 専任職員

総務課員 福田 耕児

(2) 昇格

総務課長 小柳 正規(総務課員) 新任

(3) 退職(平成16年3月31日付)

学務課調査役補 松井 浅一



学生図書選書ツアー日程決定
平成16年度学生図書選書ツアーが、旭屋書店梅田本店で6月5日(土)に開催されることに決定した。募集期間は5月10日(月)～5月21日(金)、募集人数は約10名。
昨年の図書選出ししベストテンの中でも学生図書選書ツアーで学生たちが選んだ本が上位を独占し、利用者の人気を集めている。今年はぜひあなたも参加して学生のための本を増やしてください。



昨年のツアー参加者たち

図書館利用教育について
今年度もアセンブリ・アワーの中で図書館利用教育を行う。2年次生は、5月より多くの資料を活用するため、本学図書館のみならず他図書館を有効利用する方法を、1年次生は6月に図書館の有効利用法・文献検索を学ぶ。

本学教員著書の 図書紹介

人間学部 中村真規子助教授
現代日本の流通と社会

白石善章/田中道雄編著
(ミネルヴァ書房、2004年1月刊)

「流通」という言葉を聞いたことのない人はいません。でも、それを理解しているかと言うとそうでもないようです。この本は「流通」を広い視点で理論的な基礎に基づきながら理解しようとする人のために、国内外の研究者が協力して出版したものです。

これまでの流通のみ主眼をおく本と違って、社会との関連に視座をおき「社会の対話」を通して「流通」を考察するというものです。そのため本書の構成は1章で流通の理念、政策、歴史など基本的知識、2章で流通の諸機能について発展的知識、3章で流通と社会の接点がかかれていて、それらの分析を踏まえて4章で社会的に流通を考察しています。この本は、流通の地平線の新たな広がりを感じさせます。

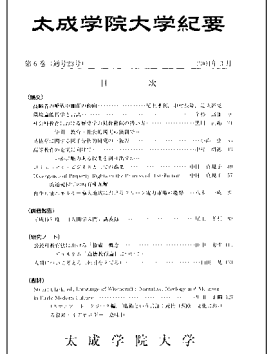
人間学部 黒川正剛講師
魔女の文明史
安田喜憲編
(八坂書房、2004年1月刊)



国際日本文化研究センターで2年間にわたって行われた共同研究「魔女と気候の文明史」の研究報告をまとめた論文集。魔女とは何だったのか? 魔女裁判とは何だったのか? 歴史学・民俗学・文学・心理学・医学などの多角的な視点から、「魔女」がはらむ様々な問題にアプローチしている『魔女学大全』。黒川正剛講師は、巻頭論文「魔女と気候」を執筆担当。16世紀の画家ハンス・バルドゥング・グリーンが残した画像分析から、魔女を考察している。この論文の内容は、人間学部授業「世界の宗教と文化(キリスト教)」でふれられる予定だ。



今年度より教職課程の新設に伴い、教職関係の月刊誌「教員養成セミナー」を新規に購読することになった。教員採用試験情報を中心の雑誌ですので、教員を目指す人には特にお勧め。教職課程科目の授業の参考にもなると思いますので、ぜひご覧下さい。(毎月22日発行)



太成学院大学紀要第6号(通巻23号)が発刊されました。今回は8編の論文のほか、調査報告、研究ノート、書評が掲載されています。図書館でも所蔵しておりますのでぜひ一読ください。

大学紀要第6号を発刊

具体的方法は、期間・分担を決めて担当者全員が腕章をつけて喫煙指導と吸殻拾いを行う。灰皿の設置してあるポイントを回りながら、ポイ捨て状況や指定場所以外の喫煙行為の状況(一般ゴミの状況等を点検して)キヤンパス・クリーンキャンペーン日誌に記録して成果をチェックする。
本学では昨年4月1日より、建物内を全面禁煙にし、指定(灰皿設置)場所での喫煙を指導してきた。さらに本年4月1日より、指定場所を26カ所から16カ所にし、受動喫煙の防止に努力してきた。しかし、歩行喫煙や指定場所以外での喫煙、ポイ捨てが後を絶たなかった。新入生がキヤンパスに慣れたこの時期に喫煙のルールを徹底することは必ず大きな成果に結びつくと期待される。

みんなでキレイに

「キャンパス・クリーンキャンペーン」の実施が4月28日(水)の合同教授会で決定した。教職員全員を9つのグループに分け、昼休みにキャンパス内を点検清掃する。このキャンペーンの狙いは、喫煙ルールの遵守意識の向上、禁煙推進・受動喫煙防止教育、キャンパスのクリーン維持のための教職員・学生一体意識の向上。

キャンパス・クリーンキャンペーン

連日満員! Pine Cafe オープン



委託業者交代のため休業していた西食堂が4月12日(月)にオープンした。名称は「パインカフェ」。営業時間はカフェタイムが9時30分～15時、ランチタイムが11時30分～13時30分。メニューは和風揚げ弁当、替(ランチ2種類、丼7種類、カレー2種類、ごはん4種類、焼き飯、焼きそば、冷麺などで盛り付け、食器も着風。料金も300円前後と良心的。カレーと丼の大盛はプラス30円でOK。飲み物は200円、300円、セットで300円、350円。

オープン以来、安くておいしいとの評判で連日賑わっている。鮮やかな新緑に囲まれたテラスも人気スポットで、座を確保するのが困難な日が続いている。学生の憩いのスペースとして、益々人気が高まることを期待したい。